

応募書作成ガイド

第 11 回 品質工学会日本規格協会理事長賞 応募書

- ・ 本ページは応募書の表紙(1 ページ)となります。
- ・ 「4. 推薦理由」以下の資料は、応募用紙の 2 ページ目以降にしてください。

応募年月日 年 月 日

一般社団法人 品質工学会

会長 佐藤 吉治 殿

1. 応募者：

(ふりがな)

応募者名： _____ 印

会員 No： _____

連絡先 (〒) _____

TEL： _____ FAX： _____

E-mail： _____

2. 受賞候補者：

候補者名： _____

所属： _____

会員 No： _____ 会員氏名 _____

連絡先 (〒) _____

TEL： _____ FAX： _____

E-mail： _____

- ・ 受賞対象となる候補者名(組織体の場合は組織名および代表者名)、所属、連絡先を記載してください。
- ・ 受賞候補者は応募者と同一でも構いません。
- ・ 組織の応募の場合は、組織に所属する品質工学会員の氏名と会員番号を 1 名分記載してください。応募者とは同一でも構いません。

3. 推薦者：

推薦者名：_____

会員 No：_____

連絡先（〒 _____）_____

TEL：_____ FAX：_____

E-mail：_____

- ・ 推薦者名と所属，連絡先を記載してください。
- ・ 組織による推薦の場合は，組織名と推薦責任者名を記載してください。応募者および/または受賞候補者と同一でも構いません。

- ・ 「4. 推薦理由」と「5. 推薦理由となる具体的実践・普及の業績内容」は，応募用紙の2ページ目以降に，自由形式で作成してください。

4. 推薦理由：

- ・ 賞の主旨に鑑みて，実践状況，普及状況およびその業績をもとに，推薦理由を記載してください。

5. 推薦理由となる具体的実践・普及の業績内容：

- ・ 各項目について記載事項が無い場合は「記載事項なし」としてください。
- ・ 推薦の理由となる活動内容を，具体的に記載してください。Excel など別表での記載も可能です。
- ・ 下記の項目以外に賞の主旨に関連して推薦する理由がある場合には，「5.7 その他，特筆すべき事項」の項目を利用するか，新たに項目を追加してください。
- ・ 可能な限り，審査過程でその内容を確認できるように記載してください。確認できる資料の写しがあれば，添付してください。

5.1 標準化への実践（設定&使いこなし）

- ・ 品質工学に関連した国際規格/日本工業規格/各団体規格/社内規格の制定実績
- ・ 標準化規格の運用，あるいは，技術の標準化に対する活動(特に運用面)の実績

- ・ 制定団体，規格 No，規格タイトル，規格制定年度，および，それらの制定に関する活動内容
- ・ 所属組織内/外での標準化の規格の制定/運用の実績

5.2 品質工学会での発表/受賞（成果発表による標準化促進）

- ・ 論文，論説，解説，大会発表の発表 および 受賞の実績
- ・ 下記について，もれなく記載してください
- ・ 掲載論文(筆頭/連名)： 題名，発表年度
- ・ 掲載論説/解説： 題名，発表年度
- ・ 大会発表： 題名，発表年度
- ・ その他の投稿報文： 題名，発表年度
- ・ 受賞実績： 論文賞，発表賞，ASI 賞，会長賞，実行委員長賞，貢献賞
- ・ その他実績

5.3 品質工学会以外の発表/受賞（他学会，社会への展開）

- ・ 団体，書籍などでの発表/投稿 および 受賞の実績
- ・ 下記について，もれなく記載してください
- ・ 各学会，団体での発表実績： 題名，会誌名，学会名，発表年など
- ・ 品質工学に関連する国際会議，大会，ASI のフォーラムなどの発表実績
- ・ 書籍発行/掲載実績： タイトル，出版社，初版年度
- ・ 雑誌掲載実績： 題名，雑誌名，出版社，掲載年月
- ・ 受賞実績

5.4 自組織での発表/受賞（所属する組織体への展開）

- ・ 自組織への実践/発表 および 表彰の実績
- ・ 社内発表会： 題名，発表年度
- ・ 社内報告数： 題名，報告年度

- ・社内表彰実績：題名，受賞年度
- ・普及に関する活動記録：普及活動名，普及による実践件数，実践者数など

5.5 指導実績

- ・自組織内 および 自組織外 への教育/コンサルティング実績
- ・下記について，もれなく記載してください
- ・社内外(組織体内外)への講義実績：教育名，主催者，実施実績(開催数，卒業者，指導内容)
- ・社内外へのコンサルティング実績：指導テーマ，指導組織，指導年月日
- ・教育関連 および 指導対象テーマの論文数ならびに受賞実績：テーマのタイトル，報告先，発表/受賞の年月日)

5.6 普及体制（組織設計や運用など）

- ・研究会開催，組織設計/マネジメント，書籍出版の実績
- ・研究会の主催/開催：研究会名，研究会開催実績，研究成果(外部発表など)，参加団体数，参加メンバー数などの実績
- ・組織設計：組織のマネジメントに関する実績
- ・普及のための組織設立，戦略設定，運用などの実績
- ・普及組織のマネジメント経歴：団体，職位，所属年月日
- ・受賞実績

5.7 その他，特筆すべき事項

- ・特にアピールしたい事項 および 5.1～5.6 以外の追記事項
(日本規格協会の事業への貢献，高い質の研究の実施，広範囲な共同研究，など)
- ・品質工学の実践，普及，推進のために行った実績

以上